

平成19年度

沖縄県病院事業会計決算審査意見書

沖 縄 県 監 査 委 員

平成20年9月9日

沖縄県知事 仲井眞 弘多 殿

沖縄県監査委員 又吉 春三

沖縄県監査委員 幸地 啓子

沖縄県監査委員 嘉陽 宗儀

沖縄県監査委員 池間 淳

平成19年度沖縄県病院事業会計の決算審査意見書について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成19年度沖縄県病院事業会計の決算について審査を実施したので、別添のとおり意見書を提出します。

目 次

| | | |
|-------|----------------|----|
| 第1 | 審査の概要 | |
| 1 | 審査の対象 | 1 |
| 2 | 審査の手続き | 1 |
| 第2 | 審査の結果及び意見 | |
| 1 | 審査結果 | 2 |
| 2 | 審査意見 | 4 |
| 第3 | 決算の概要 | |
| 1 | 事業の概要について | 6 |
| | (1) 病院等の設置状況 | 6 |
| | (2) 当初業務予定量と実績 | 8 |
| | (3) 施設の利用状況 | 9 |
| | (4) 建設改良工事等 | 10 |
| | (5) 職員数 | 11 |
| 2 | 決算諸表の概要について | 12 |
| | (1) 決算報告書 | 12 |
| | (2) 損益計算書 | 15 |
| | (3) 剰余金計算書 | 23 |
| | (4) 欠損金処理計算書 | 26 |
| | (5) 貸借対照表 | 27 |
| 3 | 資金収支について | 30 |
| 付 表 | | |
| 別表1 | 経営分析比率表 | 31 |
| 別表2 | 病院別比較損益計算書 | 32 |
| 別表3 | 病院別経営指標 | 35 |
| 別表4-1 | 資金運用表 | 36 |
| 別表4-2 | 正味運転資本増減明細書 | 36 |
| 別表5 | 資金収支表 | 37 |

第1 審査の概要

1 審査の対象

地方公営企業法第30条第2項の規定により、平成20年8月1日付け総財第735号をもって審査に付された平成19年度沖縄県病院事業会計の決算書及び決算附属書類について、下記7箇所の実地審査等も含め、審査を実施した。

記

沖縄県立北部病院

沖縄県立中部病院

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

沖縄県立宮古病院

沖縄県立八重山病院

沖縄県立精和病院

県立病院課

2 審査の手続き

審査に当たっては、病院事業の運営が常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されているかどうかについて特に意を用い、決算書及び決算附属書類が事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証した。

審査は、会計伝票、会計帳簿、証拠書類との照合を行うなど必要と認められる審査手続きを適用したほか、必要に応じ資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、例月現金出納査及び定期監査の結果も踏まえ実施した。

第2 審査の結果及び意見

1 審査結果

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法（以下「法」という。）等の関係法規に準拠して作成され、その計数は正確であり、平成19年度の経営成績及び平成20年3月31日現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

(1) 経営成績

平成19年度の決算について経営成績を見ると、表1のとおりである。

病院事業収益は、南部医療センター・こども医療センターが本格稼働したことに加えて、他の病院の経営改善努力により医業収益が30億5,512万3,503円の増収となり、旧那覇病院跡地の売却等による特別利益23億6,539万7,487円もあったため、前年度に比較して54億3,271万3,403円(13.9%)増加している。

病院事業費用は、医業費用、医業外費用とも増加し、前年度と比較して16億2,636万5,266円(3.7%)の増となっている。その主な要因は、患者数の増による薬品費や診療材料費の増9億3,227万6,970円、旧那覇病院等の建物除却による資産減耗費の増8億6,456万8,935円である。

その結果、病院事業収益から病院事業費用を差し引いた当年度の純損失は12億691万2,818円となり、前年度純損失と比較して38億634万8,137円(75.9%)減少している。

前年度末において314億2,439万7,623円の欠損金処理を行ったことから前年度繰越欠損金は204億4,902万2,518円となっており、当年度未処理欠損金（累積赤字）は216億5,593万5,336円である。

本業における医業損失は62億1,961万1,974円で、前年度と比較して8億9,991万7,580円(12.6%)の減少となり経営努力の成果は認められるが、まだ多額に上っており、なお一層の努力が求められる。

(2) 財政状態

財政状態は、表2のとおりである。

資産は、旧那覇病院の土地売却等により固定資産は減少したが、現金預金など流動資産は増加している。

負債は、一時借入金の減少により流動負債が減少しており、負債全体も減少している。

資本は、剰余金及び借入資本金の減により、資本合計で減少している。

流動負債額が流動資産額を上回っている額、いわゆる不良債務は37億9,546万5,261円となり、前年度に比較して21億8,685万4,688円(36.6%)減少している。

不良債務比率は前年度の17.4%から10.2%に低下、逆に流動比率は61.2%から73.0%へ上昇しており、資金繰りは改善している。

剰余金の減少により、自己資本構成比率は低下している。

表1 経営成績

| 区 分 科 目 | 平成19年度 | | 平成18年度 | | 対前年度比較 | |
|------------|----------------|-------|----------------|-------|------------------|--------|
| | 金 額 (A) | 構成比 | 金 額 (B) | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 病院事業収益 | 44,550,067,631 | 100.0 | 39,117,354,228 | 100.0 | 5,432,713,403 | 13.9 |
| 医業収益 | 37,338,662,922 | 83.8 | 34,283,539,419 | 87.6 | 3,055,123,503 | 8.9 |
| (入院収益) | 27,774,382,707 | 62.3 | 25,769,453,232 | 65.9 | 2,004,929,475 | 7.8 |
| (外来収益) | 7,705,576,014 | 17.3 | 6,900,413,760 | 17.6 | 805,162,254 | 11.7 |
| (診療所収益) | 573,585,116 | 1.3 | 602,431,342 | 1.5 | △ 28,846,226 | △ 4.8 |
| (その他医業収益) | 1,285,119,085 | 2.9 | 1,011,241,085 | 2.6 | 273,878,000 | 27.1 |
| 医業外収益 | 4,846,007,222 | 10.9 | 4,159,724,104 | 10.6 | 686,283,118 | 16.5 |
| 一般会計繰入金 | 3,878,864,000 | 8.7 | 3,250,673,000 | 8.3 | 628,191,000 | 19.3 |
| その他 | 967,143,222 | 2.2 | 909,051,104 | 2.3 | 58,092,118 | 6.4 |
| 特別利益 | 2,365,397,487 | 5.4 | 674,090,705 | 1.7 | 1,691,306,782 | 250.9 |
| 病院事業費用 | 45,756,980,449 | 100.0 | 44,130,615,183 | 100.0 | 1,626,365,266 | 3.7 |
| 医業費用 | 43,558,274,896 | 95.3 | 41,403,068,973 | 93.8 | 2,155,205,923 | 5.2 |
| (給与費) | 24,981,491,044 | 54.7 | 24,645,308,337 | 55.8 | 336,182,707 | 1.4 |
| (材料費) | 9,516,364,177 | 20.8 | 8,584,087,207 | 19.5 | 932,276,970 | 10.9 |
| (経費) | 5,433,604,195 | 11.9 | 5,254,331,020 | 11.9 | 179,273,175 | 3.4 |
| (減価償却費) | 2,570,338,541 | 5.6 | 2,715,290,886 | 6.2 | △ 144,952,345 | △ 5.3 |
| (資産減耗費) | 920,639,972 | 2.0 | 56,071,037 | 0.1 | 864,568,935 | 1541.9 |
| (研究研修費) | 135,836,967 | 0.3 | 147,980,486 | 0.3 | △ 12,143,519 | △ 8.2 |
| 医業外費用 | 2,092,420,042 | 4.6 | 2,063,654,375 | 4.7 | 28,765,667 | 1.4 |
| (支払利息) | 1,096,127,043 | 2.4 | 1,203,402,429 | 2.7 | △ 107,275,386 | △ 8.9 |
| (その他) | 996,292,999 | 2.2 | 860,251,946 | 2.0 | 136,041,053 | 15.8 |
| 特別損失 | 106,285,511 | 0.2 | 663,891,835 | 1.5 | △ 557,606,324 | △ 84.0 |
| 当年度純損失 | 1,206,912,818 | - | 5,013,260,955 | - | △ 3,806,348,137 | △ 75.9 |
| 前年度繰越欠損金 | 20,449,022,518 | - | 46,860,159,186 | - | △ 26,411,136,668 | △ 56.4 |
| 当年度未処理欠損金 | 21,655,935,336 | - | 51,873,420,141 | - | △ 30,217,484,805 | △ 58.3 |

表2 財政状態

| 区 分 | | 平成19年度 | 平成18年度 | 対前年度比較 | |
|------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|--------|
| | | 金額・比率 | 金額・比率 | 増減額 | 増減率 |
| | | 円 | 円 | 円 | % |
| 資産合計 | A | 62,954,006,281 | 67,825,227,565 | △ 4,871,221,284 | △ 7.2 |
| (固定資産) | | 51,614,277,339 | 57,220,736,722 | △ 5,606,459,383 | △ 9.8 |
| (流動資産) | B | 10,268,496,784 | 9,427,420,138 | 841,076,646 | 8.9 |
| (うち繰越財源) | C | 0 | 0 | 0 | - |
| 負債合計 | | 16,101,864,574 | 17,447,642,616 | △ 1,345,778,042 | △ 7.7 |
| (流動負債) | D | 14,063,962,045 | 15,409,740,087 | △ 1,345,778,042 | △ 8.7 |
| 資本合計 | | 46,852,141,707 | 50,377,584,949 | △ 3,525,443,242 | △ 7.0 |
| (自己資本金) | E | 1,878,584,732 | 1,878,584,732 | 0 | 0.0 |
| (剰余金) | F | 8,133,251,926 | 9,258,795,212 | △ 1,125,543,286 | △ 12.2 |
| (借入資本金) | | 36,840,305,049 | 39,240,205,005 | △ 2,399,899,956 | △ 6.1 |
| 不良債務 | G = D - B + C | 3,795,465,261 | 5,982,319,949 | △ 2,186,854,688 | △ 36.6 |
| (不良債務比率) | G / 医業収益 | 10.2 | 17.4 | - | △ 7.2 |
| (流動比率) | B / D | 73.0 | 61.2 | - | 11.8 |
| (自己資本構成比率) | (E + F) / A | 15.9 | 16.4 | - | △ 0.5 |

2 審査意見

県立病院は、救命救急医療、高度・特殊医療、離島・へき地医療を担うとともに医師の確保に向けて医師臨床研修制度の拡充を図るなどその役割機能の充実に努め、県民の多様化する医療ニーズに対応してきた。

「県民の命を守る」という大きな目的のための医療関係者の努力等により、救命救急医療体制の整備や臨床研修制度等は全国的にも高く評価されるものとなっている。

平成19年度決算においては、南部医療センター・こども医療センターの本格稼働に加え、他の病院の経営改善努力による医業収益の増、旧那覇病院の土地売却による特別利益の増等もあったが、12億691万2,818円の単年度純損失を計上している。

その結果、県立病院事業は平成19年度末で216億5,593万5,336円の累積欠損金を抱えるに至っている。

県立病院が今後とも公的医療機関としての役割を果たすためには、公営企業として経営体質の改善と経営力の向上を図るなど、より企業性を発揮した事業運営に努め、健全経営を確保することが求められている。

病院運営にあたっては次の事項に留意し、適切な措置を講じるよう要望する。

(1) 経営改善の取り組みについて

県立病院事業は、平成18年度に公営企業法の一部適用から全部適用に改められ、病院事業管理者による運営に移行した。

また、より自主性の高い経営を目指してプロパー的職員の採用、看護師の任用基準の緩和等を進めている。

経営健全化に向けて、医業収益の確保、病院事業の資金繰りの改善など、実効性のある対策を講ずる必要がある。

ア 医業収支の改善

医業収益に対する職員費の割合は66.9%と、前年度に比較して5ポイント低下している。材料費については、薬品、診療材料の一括契約の実施、後発医薬品の採用拡大等により、一定の成果が上がっている。

公営企業としての特性を十分に発揮し、自主性の高い経営を実現するため、職員の意識改革を進めるとともに、一括契約の拡充、業務の見直し等による経費の削減に努める必要がある。

イ 未収金対策

個人負担分医業未収金については、「未収金対策強化月間」の実施や債権回収サービス業者への委託等を行うなど発生防止に努めてきた。

平成19年度末における同未収金の現年度分残高は4億9,794万9,896円となり、前年度

に比較して2億4,531万9,782円(33.0%)減少しており、対策の成果が上がっている。

しかし、回収のより困難な過年度分の未収金残高は12億4,769万184円となり、前年度に比較して1億3,082万3,345円(11.7%)増加している。

未収金の縮減を図るためには、債務者の実態に応じた適切な債権管理を行うなど取組みを強化する必要がある。

ウ 不良債務の解消

不良債務額は37億9,546万5,261円と前年度に比較して21億8,685万4,688円(36.6%)減少し、不良債務比率も17.4%から10.2%に低下している。また流動比率は73.0%と前年度に比較して11.8ポイント上昇しており、資金繰りは改善している。

しかし、まだ多額の不良債務を抱えている状況にあり、経営改善を着実に進めつつ、不良債務の解消に努める必要がある。

(2) 医師等医療スタッフの確保等について

県民の多様な医療ニーズに対応し、より良い医療を提供するためには医師・看護師等を安定的に確保する必要がある。

県立病院においては、一部の診療科に医師不足がみられることから、医師臨床研修制度の充実、大学など関係機関との連携強化等医師確保に向けた諸方策を講ずる必要がある。

また、看護師不足のため病棟の一部を閉鎖するなど厳しい状況にあることから、引き続き看護師確保に向けた諸方策を検討する必要がある。

(3) 「県立病院のあり方検討部会」等について

県では、県立病院の厳しい現況に鑑み全庁的に県立病院事業の改善に取り組んでいる。平成19年度は「県立病院の機能・役割等に関する調査分析」の委託事業を実施した。また、県立病院の役割、機能並びに運営体制について審議するため、沖縄県医療審議会に医療関係者、行政関係者、有識者による「県立病院のあり方検討部会」を設置し、平成20年度中には結論を得ることとしている。

国は、公立病院事業が全国的に厳しい経営状況にある中において、平成19年12月24日付けで「公立病院改革ガイドライン」を策定し、地方公共団体に対して本ガイドラインを踏まえた病院事業経営の改革に総合的に取り組むよう要請しており、県においては、その対応が求められている。

このようなことも踏まえて、県は県立病院が公的医療機関としての役割を果たしていくための総合的方策について検討する必要がある。

第3 決算の概要

1 事業の概要について

(1) 病院等の設置状況

本県の病院事業は、県民の健康保持に必要な医療を提供することを目的として、次表のとおり沖縄県病院事業の設置及び管理に関する条例（昭和47年条例第35号）第2条第2項の規定により設置された6病院及び同条第3項の規定により設置された29箇所の附属診療所のうち16箇所の附属診療所を運営してきた。

休止又は廃止に係る13診療所のうち、安田、池間、伊原間については親病院等から巡回診療を実施している。

なお、県立南部病院及び那覇病院は平成18年3月31日付けで廃止され、南部医療センター・こども医療センターが同年4月1日付けで開設された。

県立病院及び附属診療所の状況

| 病院名 | 病床数 | 附属診療所 | 休止又は廃止の附属診療所 |
|--------------------|--------|------------------------------|----------------------|
| 北部病院 | 327 | 伊平屋、伊是名、奥、安田、平良、古宇利、瀬底、嘉陽、久志 | 奥、安田、古宇利、平良、瀬底、嘉陽、久志 |
| 中部病院 | 550 | 伊計、宮城、浜、津堅 | 伊計、宮城、浜 |
| 南部医療センター・こども医療センター | 434 | 久高、渡嘉敷、座間味、阿嘉、渡名喜、粟国、北大東、南大東 | |
| 宮古病院 | 393 | 池間、多良間 | 池間 |
| 八重山病院 | 350 | 伊原間、大原、西表西部、小浜、波照間、鳩間 | 伊原間、鳩間 |
| 精和病院 | 300 | | |
| 6病院 | 2,354床 | 29箇所 | 13箇所 |

平成18年10月1日現在における本県及び全国の医療施設の状況は次表のとおりである。

本県における県立病院事業施設の占める割合は、病院数が6.4%、診療所数が2.3%、病床数で12.0%となっている。

一方、全国平均は病院数が3.3%、診療所数が0.3%、病床数で5.0%となっている。

本県は、全国に比較して県立病院等の占める割合が高い状況にある。

医療施設の状況

沖縄県

(各年10月1日現在)

| 区 分 | 病 院 | | | | 診 療 所 | | | |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 施設数 | | 病床数 | | 施設数 | | 病床数 | |
| | 平成18年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成17年度 |
| 県内医療施設 | 94 | 95 | 19,689 | 19,766 | 787 | 766 | 1,832 | 1,903 |
| うち県立病院事業施設 | 6 | 7 | 2,359 | 2,609 | 18 | 18 | 0 | 0 |
| 県立病院の占める割合(%) | 6.4 | 7.4 | 12.0 | 13.2 | 2.3 | 2.3 | 0.0 | 0.0 |

資料：厚生労働省「医療施設動態調査」

医療施設の状況

全国

(平成18年10月1日現在)

| 区分 | 病 院 | | 診療所 | |
|------------------|-------|-----------|--------|---------|
| | 施設数 | 病床数 | 施設数 | 病床数 |
| 全国医療施設 | 8,943 | 1,626,589 | 98,609 | 159,898 |
| うち都道府県立施設 | 294 | 81,511 | 300 | 113 |
| 都道府県立施設の占める割合(%) | 3.3 | 5.0 | 0.3 | 0.07 |

資料：厚生労働省「医療施設動態調査」

(2) 当初業務予定量と実績

各病院においては、事業年度の当初において経営活動の基本的目標として業務の予定量を定めることとしており、病院事業では、患者数を主な業務予定量として設定している。

平成19年度において予定した患者数及び決算における実績は、次表のとおりである。

入院患者数は、全体では予定量より13,311人(1.8%)下回っている。

南部医療センター・こども医療センターを除く全病院で実績が予定量を下回っている。

外来患者数は、全体では予定量より43,425人(5.4%)上回っている。

全病院において実績が予定量を上回っており、特に南部医療センター・こども医療センターの増加が大きい。

入院・外来患者の合計では、全体で予定量より30,114人(2.0%)上回っている。

八重山病院、精和病院では実績が予定量を下回っている。

病院別当初予定量と実績の比較(平成19年度)

(単位:人、%)

| 区分 病院名 | 入 院 | | | 外 来 | | | 合 計 | | |
|-----------|---------|---------|--------------------|---------|---------|------------------|-----------|-----------|-------------------|
| | 予定量 | 実績 | 増減 | 予定量 | 実績 | 増減 | 予定量 | 実績 | 増減 |
| 北部病院 | 106,702 | 105,404 | △ 1,298 (△1.2) | 130,670 | 132,608 | 1,938 (1.5) | 237,372 | 238,012 | 640 (0.3) |
| 中部病院 | 193,308 | 192,914 | △ 394 (△0.2) | 196,702 | 207,002 | 10,300 (5.2) | 390,010 | 399,916 | 9,906 (2.5) |
| 医療センター | 149,292 | 152,163 | 2,871 (1.9) | 140,581 | 160,653 | 20,072 (14.3) | 289,873 | 312,816 | 22,943 (7.9) |
| 宮古病院 | 101,262 | 95,217 | △ 6,045 (△6.0) | 105,994 | 113,806 | 7,812 (7.4) | 207,256 | 209,023 | 1,767 (0.9) |
| 八重山病院 | 92,266 | 87,438 | △ 4,828 (△5.2) | 141,274 | 143,426 | 2,152 (1.5) | 233,540 | 230,864 | △ 2,676 (△1.1) |
| 精和病院 | 86,231 | 82,614 | △ 3,617 (△4.2) | 24,537 | 25,952 | 1,415 (5.8) | 110,768 | 108,566 | △ 2,202 (△2.0) |
| 診療所計 | 0 | 0 | 0 | 68,114 | 67,850 | △ 264 (△0.4) | 68,114 | 67,850 | △ 264 (△0.4) |
| 合計 | 729,061 | 715,750 | △ 13,311 (△1.8) | 807,872 | 851,297 | 43,425 (5.4) | 1,536,933 | 1,567,047 | 30,114 (2.0) |

(注) () 書きの数字は増減率である。

年度別当初予定量と実績の過去3ヶ年間の状況は、次表のとおりである。

年度別当初予定量と実績の動向

(単位:人、%)

| 区分 年度 | 入 院 | | | 外 来 | | | 合 計 | | |
|----------|---------|---------|--------------------|---------|---------|--------------------|-----------|-----------|--------------------|
| | 予定量 | 実績 | 増減 | 予定量 | 実績 | 増減 | 予定量 | 実績 | 増減 |
| 平成17年度 | 813,308 | 779,672 | △ 33,636 (△4.1) | 941,390 | 897,988 | △ 43,402 (△4.6) | 1,754,698 | 1,677,660 | △ 77,038 (△4.4) |
| 平成18年度 | 729,077 | 696,821 | △ 32,256 (△4.4) | 844,206 | 804,052 | △ 40,154 (△4.8) | 1,573,283 | 1,500,873 | △ 72,410 (△4.6) |
| 平成19年度 | 729,061 | 715,750 | △ 13,311 (△1.8) | 807,872 | 851,297 | 43,425 (5.4) | 1,536,933 | 1,567,047 | 30,114 (2.0) |

(3) 施設の利用状況

| 病院名 | 年 度 | 入 院 | | | 外来患者 延 数 (B) | 計 (A)+(B) | 1日平均患者数 | | | 外来入院 患者比率 (B)/(A) |
|--------------------|--------|-------------|-------|------------|--------------------|--------------|---------|-------|-------|-------------------------|
| | | 患者延数 (A) | 病床数 | 病 床 利用率 | | | 入院 | 外来 | 計 | |
| | | 人 | 床 | % | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | % |
| 北部病院 | 平成19年度 | 105,404 | 327 | 88.1 | 146,072 | 251,476 | 288 | 596 | 884 | 138.6 |
| | 平成18年度 | 103,912 | 327 | 87.1 | 146,914 | 250,826 | 285 | 602 | 887 | 141.4 |
| | 前年度比較 | 1,492 | 0 | 1.0 | △ 842 | 650 | 3 | △ 6 | △ 3 | △ 2.8 |
| 中部病院 | 平成19年度 | 192,914 | 550 | 95.8 | 210,125 | 403,039 | 527 | 858 | 1,385 | 108.9 |
| | 平成18年度 | 193,280 | 550 | 96.3 | 201,959 | 395,239 | 530 | 828 | 1,358 | 104.5 |
| | 前年度比較 | △ 366 | 0 | △ 0.5 | 8,166 | 7,800 | △ 3 | 30 | 27 | 4.4 |
| 南部医療センター・こども医療センター | 平成19年度 | 152,163 | 434 | 95.8 | 188,775 | 340,938 | 416 | 771 | 1,187 | 124.1 |
| | 平成18年度 | 130,719 | 434 | 82.5 | 160,285 | 291,004 | 358 | 657 | 1,015 | 122.6 |
| | 前年度比較 | 21,444 | 0 | 13.3 | 28,490 | 49,934 | 58 | 114 | 172 | 1.5 |
| 宮古病院 | 平成19年度 | 95,217 | 393 | 66.2 | 119,795 | 215,012 | 260 | 489 | 749 | 125.8 |
| | 平成18年度 | 97,409 | 393 | 67.9 | 112,556 | 209,965 | 267 | 461 | 728 | 115.5 |
| | 前年度比較 | △ 2,192 | 0 | △ 1.7 | 7,239 | 5,047 | △ 7 | 28 | 21 | 10.3 |
| 八重山病院 | 平成19年度 | 87,438 | 350 | 68.3 | 160,578 | 248,016 | 239 | 655 | 894 | 183.6 |
| | 平成18年度 | 85,931 | 350 | 67.3 | 157,380 | 243,311 | 235 | 645 | 880 | 183.1 |
| | 前年度比較 | 1,507 | 0 | 1.0 | 3,198 | 4,705 | 4 | 10 | 14 | 0.5 |
| 精和病院 | 平成19年度 | 82,614 | 300 | 74.7 | 25,952 | 108,566 | 226 | 106 | 332 | 31.4 |
| | 平成18年度 | 85,570 | 305 | 76.9 | 24,958 | 110,528 | 234 | 102 | 336 | 29.2 |
| | 前年度比較 | △ 2,956 | △ 5 | △ 2.2 | 994 | △ 1,962 | △ 8 | 4 | △ 4 | 2.2 |
| 合 計 | 平成19年度 | 715,750 | 2,354 | 83.0 | 851,297 | 1,567,047 | 1,956 | 3,475 | 5,431 | 118.9 |
| | 平成18年度 | 696,821 | 2,359 | 80.9 | 804,052 | 1,500,873 | 1,909 | 3,295 | 5,204 | 115.4 |
| | 前年度比較 | 18,929 | △ 5 | 2.1 | 47,245 | 66,174 | 47 | 180 | 227 | 3.5 |

(注) 外来患者数は、診療所の外来患者数を含む。

施設の利用状況を見ると、平成19年度の入院患者延数は715,750人で、前年度に比較して18,929人(2.7%)増加している。病院別では、南部医療センター・こども医療センターが21,444人(16.4%)と大幅に増加している。

外来患者延数は851,297人で、前年度に比較して47,245人(5.9%)増加している。北部病院を除く全病院で増加しているが、南部医療センター・こども医療センターで増加が大きい。

入院と外来を合わせた患者延数は1,567,047人で、前年度に比較して66,174人(4.4%)の増加となっている。

患者数が増加した主な要因は、南部医療センター・こども医療センターが年間を通し本格稼働したことによる。

病床利用率は、83.0%で、前年度の80.9%に比較して2.1ポイント上回っている。

外来入院患者比率は118.9%で、前年度の115.4%に比較して3.5ポイント上回っている。

(4) 建設改良工事等

建設工事については該当ない。

改良工事については、北部病院電話交換機システム取替工事、中部病院無停電装置蓄電池取替工事、八重山病院ナースコール装置取替工事等を実施した。

保存工事については、北部病院の血管撮影装置、中部病院の全身用X線コンピュータ撮影装置、南部医療センター・こども医療センターの循環器X線装置、宮古病院のCT用X線管球取り替え、八重山病院の高気圧酸素治療装置修理、精和病院の全自動免疫血清検査システム等計35点を整備した。

(5) 職員数

定数と現員

| 年度 | 区分 | 医師 | 看護部門職員 | 医療技術員 | 事務職員及び その他職員 | 計 |
|--------------|----|-----|--------|-------|-----------------|-------|
| | | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 平成19年度 | 定数 | 300 | 1,456 | 284 | 241 | 2,281 |
| | 現員 | 298 | 1,487 | 285 | 235 | 2,305 |
| | 欠員 | 2 | △ 31 | △ 1 | 6 | △ 24 |
| 平成18年度 | 定数 | 300 | 1,456 | 284 | 241 | 2,281 |
| | 現員 | 299 | 1,466 | 282 | 243 | 2,290 |
| | 欠員 | 1 | △ 10 | 2 | △ 2 | △ 9 |
| 対前年度 比較増減 | 定数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 現員 | △ 1 | 21 | 3 | △ 8 | 15 |
| | 欠員 | 1 | △ 21 | △ 3 | 8 | △ 15 |

(注) 診療所分を含む。

病床100床当たり職員数（常時雇用する臨時職員を含む。）

| 年度 | 医師 | 看護部門職員 | 医療技術員 | 事務職員及び その他職員 | 計 |
|----------------|------|--------|-------|-----------------|-------|
| | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 平成19年度 | 20.1 | 67.5 | 10.3 | 16.8 (10.5) | 114.7 |
| 平成18年度 | 18.7 | 66.4 | 10.5 | 16.2 (10.3) | 111.8 |
| 対前年度 比較増減 | 1.4 | 1.1 | △ 0.2 | 0.6 (0.2) | 2.9 |
| 平成18年度 全国平均 | 12.8 | 64.8 | 9.9 | 16.6 (7.2) | 104.0 |

(注) 1. 本表における職員数は、年度末職員数に常時雇用する臨時職員（嘱託員）の換算数を加えたものである。

2. 四捨五入との関係において、内訳の合計と計は必ずしも一致しない。

3. 「事務職員及びその他職員」欄の（ ）内の数字は、事務職員の再掲である。

当年度末現在、職員の現員は2,305人で、定数2,281人に対して24人の過員となっている。

前年度に比較して現員合計では15人の増、医師は298人で前年度に比較して1人の減、看護部門職員は1,487人で前年度に比較して21人の増となっている。

また、病床100床当たり職員数（常時雇用する臨時職員を含む。）は、医師が20.1人で前年度に比較して1.4人の増、看護部門職員は67.5人で前年度に比較して1.1人の増となり、全職員計では114.7人で前年度に比較して2.9人の増となっている。

2 決算諸表の概要について

(1) 決算報告書

予算額に対する決算額及び内容は、次のとおりである。

ア 収益的収入及び支出

収 入

| 科 目 | 予算額 (A) | 決算額 (B) | 予算額に比べ 決算額の増減 | 執行率 (B) / (A) |
|------------|----------------|--------------------------------|------------------|------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 第1款 病院事業収益 | 44,347,577,000 | 44,599,888,814 (49,821,183) | 252,311,814 | 100.6 |
| 第1項 医業収益 | 37,309,896,000 | 37,364,950,897 (26,287,975) | 55,054,897 | 100.1 |
| 第2項 医業外収益 | 4,669,244,000 | 4,869,522,834 (23,515,612) | 200,278,834 | 104.3 |
| 第3項 特別利益 | 2,368,437,000 | 2,365,415,083 (17,596) | △ 3,021,917 | 99.9 |

(注) 決算額の下段 () 書きは、仮受消費税及び地方消費税で内数である。

支 出

| 科 目 | 予算額 (A) | 決算額 (B) | 翌年度 繰越額 | 不用額 | 執行率 (B) / (A) |
|------------|----------------|---------------------------------|------------|-------------|------------------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | % |
| 第1款 病院事業費用 | 46,326,940,000 | 45,347,067,891 (307,965,139) | 0 | 979,872,109 | 97.9 |
| 第1項 医業費用 | 44,751,875,000 | 43,866,008,454 (307,733,558) | 0 | 885,866,546 | 98.0 |
| 第2項 医業外費用 | 1,434,645,000 | 1,374,542,345 (0) | 0 | 60,102,655 | 95.8 |
| 第3項 特別損失 | 130,420,000 | 106,517,092 (231,581) | 0 | 23,902,908 | 81.7 |
| 第4項 予備費 | 10,000,000 | 0 (0) | 0 | 10,000,000 | 0.0 |

(注) 決算額の下段 () 書きは、仮払消費税及び地方消費税で内数である。

(ア) 収益的収入の決算額は445億9,988万8,814円で、予算額443億4,757万7,000円に比較して2億5,231万1,814円の増となっている。

(イ) 収益的支出の決算額は453億4,706万7,891円で、予算額463億2,694万円との差額9億7,987万2,109円が不用額となっている。

イ 資本的収入及び支出

収 入

| 科 目 | 予算額 (A) | 決算額 (B) | 予算額に比べ 決算額の増減 | 執行率 (B)/(A) |
|--------------|---------------|---------------|------------------|----------------|
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 第1款 資本的収入 | 4,866,607,000 | 4,748,021,072 | △ 118,585,928 | 97.6 |
| 第1項 企業債 | 1,894,100,000 | 1,777,900,000 | △ 116,200,000 | 93.9 |
| 第2項 他会計負担金 | 1,785,402,000 | 1,785,402,000 | 0 | 100.0 |
| 第3項 他会計補助金 | 452,503,000 | 452,503,000 | 0 | 100.0 |
| 第4項 国庫補助金 | 29,624,000 | 27,074,000 | △ 2,550,000 | 91.4 |
| 第5項 固定資産売却代金 | 704,978,000 | 704,173,072 | △ 804,928 | 99.9 |
| 第6項 寄附金 | 0 | 969,000 | 969,000 | 皆増 |

支 出

| 科 目 | 予算額 (A) | 決算額 (B) | 翌年度 繰越額 | 不用額 | 執行率 (B)/(A) |
|-------------|---------------|-------------------------------|------------|-------------|----------------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | % |
| 第1款 資本的支出 | 4,866,607,000 | 4,745,102,343 (26,400,279) | 0 | 121,504,657 | 97.5 |
| 第1項 建設改良費 | 673,948,000 | 554,735,972 (26,400,279) | 0 | 119,212,028 | 82.3 |
| 第2項 企業債償還金 | 4,178,519,000 | 4,177,799,956 | 0 | 719,044 | 100.0 |
| 第3項 無形固定資産 | 1,000 | 0 | 0 | 1,000 | 0.0 |
| 第4項 国庫補助返還金 | 14,139,000 | 12,566,415 | 0 | 1,572,585 | 88.9 |

(注) 決算額の下段 () 書きは、仮払消費税及び地方消費税で内数である。

(ア) 資本的収入の決算額は47億4,802万1,072円で、予算額48億6,660万7,000円に比較して1億1,858万5,928円の減となっている。

企業債17億7,790万円は、各病院の改良工事や医療機器購入等に充当したものである。予算額との差額1億1,620万円は、施設整備費及び資産購入費の執行残である。

他会計負担金17億8,540万2,000円は、施設整備や医療機器購入等に対する一般会計負担金1億4,772万4,000円及び企業債償還金に対する一般会計負担金16億3,767万8,000円である。

他会計補助金4億5,250万3,000円は、企業債償還金に対する一般会計からの補助金である。

国庫補助金2,707万4,000円は、医療機器購入等に係る補助金で、各病院の医療機器購入等に充当された。予算額との差額255万円は、交付減である。

固定資産売却代金7億417万3,072円は、旧那覇病院の土地売却によるものである。

(イ) 資本的支出の決算額は47億4,510万2,343円で、予算額48億6,660万7,000円に比較して1億2,150万4,657円の減となっている。これは、建設改良費の不用額が1億1,921万2,028円生じたことによる。

(ウ) 予算額に対する決算額の割合は、資本的収入、資本的支出それぞれ97.6%、97.5%となっており、前年度(資本的収入96.6%、資本的支出96.0%)を上回っている。

(エ) 収入と支出の差額291万8,729円は、内部留保資金として処理している。

(2) 損益計算書

ア 事業の経営成績は、次のとおりである。

| 区 分 科 目 | 平成19年度 | | 平成18年度 | | 対前年度比較 | |
|------------|----------------|-------|----------------|-------|------------------|---------|
| | 金額 (A) | 構成比 | 金額 (B) | 構成比 | (A) - (B) | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 病院事業収益 | 44,550,067,631 | 100.0 | 39,117,354,228 | 100.0 | 5,432,713,403 | 13.9 |
| 医業収益 | 37,338,662,922 | 83.8 | 34,283,539,419 | 87.6 | 3,055,123,503 | 8.9 |
| 入院収益 | 27,774,382,707 | 62.3 | 25,769,453,232 | 65.9 | 2,004,929,475 | 7.8 |
| 外来収益 | 7,705,576,014 | 17.3 | 6,900,413,760 | 17.6 | 805,162,254 | 11.7 |
| 診療所収益 | 573,585,116 | 1.3 | 602,431,342 | 1.5 | △ 28,846,226 | △ 4.8 |
| その他医業収益 | 1,285,119,085 | 2.9 | 1,011,241,085 | 2.6 | 273,878,000 | 27.1 |
| 医業外収益 | 4,846,007,222 | 10.8 | 4,159,724,104 | 10.6 | 686,283,118 | 16.5 |
| 受取利息配当金 | 661 | 0.0 | 10,359 | 0.0 | △ 9,698 | △ 93.6 |
| 他会計補助金 | 775,229,000 | 1.7 | 421,709,000 | 1.1 | 353,520,000 | 83.8 |
| 国庫補助金 | 462,855,150 | 1.0 | 438,751,789 | 1.1 | 24,103,361 | 5.5 |
| 負担金交付金 | 3,103,635,000 | 7.0 | 2,828,964,000 | 7.2 | 274,671,000 | 9.7 |
| その他医業外収益 | 504,287,411 | 1.1 | 470,288,956 | 1.2 | 33,998,455 | 7.2 |
| 特別利益 | 2,365,397,487 | 5.3 | 674,090,705 | 1.8 | 1,691,306,782 | 250.9 |
| 固定資産売却益 | 2,343,993,928 | 5.3 | 646,691,688 | 1.7 | 1,697,302,240 | 262.5 |
| 過年度損益修正益 | 21,403,559 | 0.0 | 27,396,672 | 0.1 | △ 5,993,113 | △ 21.9 |
| その他特別利益 | 0 | 0.0 | 2,345 | 0.0 | △ 2,345 | 皆減 |
| 病院事業費用 | 45,756,980,449 | 100.0 | 44,130,615,183 | 100.0 | 1,626,365,266 | 3.7 |
| 医業費用 | 43,558,274,896 | 95.3 | 41,403,068,973 | 93.9 | 2,155,205,923 | 5.2 |
| 給与費 | 24,981,491,044 | 54.7 | 24,645,308,337 | 55.9 | 336,182,707 | 1.4 |
| 材料費 | 9,516,364,177 | 20.8 | 8,584,087,207 | 19.5 | 932,276,970 | 10.9 |
| 経費 | 5,433,604,195 | 11.9 | 5,254,331,020 | 11.9 | 179,273,175 | 3.4 |
| 減価償却費 | 2,570,338,541 | 5.6 | 2,715,290,886 | 6.2 | △ 144,952,345 | △ 5.3 |
| 資産減耗費 | 920,639,972 | 2.0 | 56,071,037 | 0.1 | 864,568,935 | 1,541.9 |
| 研究研修費 | 135,836,967 | 0.3 | 147,980,486 | 0.3 | △ 12,143,519 | △ 8.2 |
| 医業外費用 | 2,092,420,042 | 4.6 | 2,063,654,375 | 4.6 | 28,765,667 | 1.4 |
| 支払利息 | 1,096,127,043 | 2.4 | 1,203,402,429 | 2.7 | △ 107,275,386 | △ 8.9 |
| 繰延勘定償却 | 128,106,398 | 0.3 | 140,044,270 | 0.3 | △ 11,937,872 | △ 8.5 |
| 雑損失 | 868,186,601 | 1.9 | 720,207,676 | 1.6 | 147,978,925 | 20.5 |
| 特別損失 | 106,285,511 | 0.2 | 663,891,835 | 1.5 | △ 557,606,324 | △ 84.0 |
| 固定資産売却損 | 0 | 0.0 | 574,004,455 | 1.3 | △ 574,004,455 | 皆減 |
| 過年度損益修正損 | 106,285,511 | 0.2 | 89,887,380 | 0.2 | 16,398,131 | 18.2 |
| 当年度純損失 | 1,206,912,818 | - | 5,013,260,955 | - | △ 3,806,348,137 | △ 75.9 |
| 前年度繰越欠損金 | 20,449,022,518 | - | 46,860,159,186 | - | △ 26,411,136,668 | △ 56.4 |
| 当年度未処理欠損金 | 21,655,935,336 | - | 51,873,420,141 | - | △ 30,217,484,805 | △ 58.3 |

(注1) 「構成比」欄は、四捨五入の関係上、内訳の合計と計数が一致しない場合がある。

(注2) 平成18年度決算後、議会の議決を得て欠損金処理314億2,439万7,623円を実施し、翌年度繰越欠損金は204億4,902万2,518円となっている。

当年度の経営成績は、12億691万2,818円の純損失を生じている。

このように純損失が生じた原因は、病院事業収益の445億5,006万7,631円に対し、病院事業費用が457億5,698万449円となっていることによる。

これを項目別にみると、医業収益373億3,866万2,922円に対して医業費用は435億5,827万4,896円で、差引き62億1,961万1,974円の医業損失となっている。

医業外収益は、48億4,600万7,222円の収入に対して費用は20億9,242万42円で、差引き27億5,358万7,180円の利益となり、これと医業損失を合計した経常損失は34億6,602万4,794円となっている。

特別利益23億6,539万7,487円に対して、特別損失は1億628万5,511円で、差引き22億5,911万1,976円の利益となっている。これと経常損失を合計した額12億691万2,818円が、当年度の純損失となっている。

当年度は収益が大きく増加した一方、費用の増加は小幅であったことから、純損失は、前年度の50億1,326万955円に比較して38億634万8,137円（75.9%）減と大幅に減少し、前年度繰越欠損金と合わせた当年度未処理欠損金は、216億5,593万5,336円となっている。

病院事業費用に対する病院事業収益の割合（総収支比率）は97.4%で、前年度の88.6%より大きく改善している。医業費用に対する医業収益の割合（医業収支比率）は85.7%で、これも前年度の82.8%より改善している。

各科目の内容は次のとおりである。

（ア）医業収益

入院収益は、入院患者数が増加したため、前年度に比較して20億492万9,475円（7.8%）増加している。

総収益に占める入院収益の割合は、当年度62.3%、前年度65.9%となっている。入院収益の動向が収益全体に与える影響は大きい。

外来収益も、患者数が増加したため、前年度に比較して8億516万2,254円（11.7%）増加している。

診療所収益は、2,884万6,226円（4.8%）減少している。

その他医業収益は、2億7,387万8,00円（27.1%）増加している。

これらの結果、医業収益は373億3,866万2,922円となり、前年度に比較して30億5,512万3,503円（8.9%）増加している。

（イ）医業外収益

他会計補助金及び負担金交付金が増加したことから、48億4,600万7,222円となり、前年度に比較して6億8,628万3,118円（16.5%）増加している。

(ウ) 医業費用

給与費は、賃金、法定福利費、勸奨退職者の増加に伴う退職給与金の増等により、前年度に比較して3億3,618万2,707円(1.4%)増加している。給与費は総費用の54.7%を占めている。

材料費は、主に患者数の増により、9億3,227万6,970円(10.9%)増加している。

経費は、修繕費、委託料等の増により、1億7,927万3,175円(3.4%)増加している。

減価償却費は、1億4,495万2,345円(5.3%)減少している。

資産減耗費は、旧那覇病院の固定資産除却により8億6,456万8,935円(1,541.9%)増加している。

これらの結果、医業費用は435億5,827万4,896円となり、前年度に比較して21億5,520万5,923円(5.2%)増加している。

(エ) 医業外費用

支払利息の10億9,612万7,043円のうち、10億3,006万6,090円が企業債利息、2,200万円が長期借入金利息、4,406万953円が一時借入金利息となっている。

雑損失は8億6,818万6,601円、うち7億4,752万4,087円が控除対象外消費税で、前年度に比較して1億4,797万8,925円(20.5%)増加している。

医業外費用全体では20億9,242万42円となり、前年度に比較して2,876万5,667円(1.4%)増加している。

(オ) 純損失及び未処理欠損金について

当年度の純損失額は12億691万2,818円で、前年度に比較して38億634万8,137円(75.9%)減少している。当年度未処理欠損金は216億5,593万5,336円となっている。

純損失額には、損益計算のうえで減価償却費、資産減耗費などの現金の支出を伴わない経費を含んでいる。平成19年度の現金の支出を伴わない経費は、総額34億1,230万2,741円で、純損失額12億691万2,818円からこの経費を差し引いた額は22億538万9,923円の純利益となっている。

同様に、当年度未処理欠損金216億5,593万5,336円から、これまでの現金の支出を伴わない経費の累計額120億9,389万8,812円を差し引いた額は95億6,230万6,524円となっている。

イ 一般会計からの繰入金

一般会計からの繰入金(収益的収入)の状況は、次のとおりである。

| 事 項 | | 区 分 | 平成19年度 | 平成18年度 | 対前年度比較 | |
|-------------|---------------------------|------------------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | | | 金額 (A) | 金額 (B) | (A) - (B) | 増減率 |
| | | | 千円 | 千円 | 千円 | % |
| (項) 医業収益 | | 法第17条の2第1項第1号 | | | | |
| (目) その他医業収益 | | 救急医療確保経費 | 1,004,551 | 754,477 | 250,074 | 33.1 |
| (節) 他会計負担金 | | | | | | |
| | | 小 計 | 1,004,551 | 754,477 | 250,074 | 33.1 |
| (項) 医業外収益 | | 法第17条の2第1項第2号 | | | | |
| (目) 負担金交付金 | | 1. 高度医療増こう費 | 391,306 | 373,700 | 17,606 | 4.7 |
| | | 2. 結核増こう費 | 110,283 | 113,639 | △ 3,356 | △ 3.0 |
| | | 3. 精神増こう費 | 954,427 | 659,190 | 295,237 | 44.8 |
| | | 4. 附属診療所増こう費 | 45,057 | 42,578 | 2,479 | 5.8 |
| | | 5. 借入資本金利子償還金 | 561,796 | 690,796 | △ 129,000 | △ 18.7 |
| | | 6. へき地医療増こう費 | 12,024 | 14,577 | △ 2,553 | △ 17.5 |
| | | 7. 周産期医療増こう費 | 448,854 | 406,478 | 42,376 | 10.4 |
| | | 8. リハビリテーション増こう費 | 110,946 | 107,194 | 3,752 | 3.5 |
| | | 9. 小児医療増こう費 | 468,942 | 420,812 | 48,130 | 11.4 |
| | | 小 計 | 3,103,635 | 2,828,964 | 274,671 | 9.7 |
| (項) 医業外収益 | | 法第17条の3 | | | | |
| (目) 他会計補助金 | | 1. 経営基盤強化対策経費 | 500,433 | 183,158 | 317,275 | 173.2 |
| | | 2. 基礎年金拠出金に要する経費 | 199,465 | 145,019 | 54,446 | 37.5 |
| | | 3. その他 | 75,331 | 93,532 | △ 18,201 | △ 19.5 |
| | | 小 計 | 775,229 | 421,709 | 353,520 | 83.8 |
| 計 | | | 4,883,415 | 4,005,150 | 878,265 | 21.9 |
| 備 | 1床当たり繰入額(病床数=2,354床) | | 2,075 | 1,698 | 377 | 22.2 |
| 考 | 医業収益(他会計負担金を除く。)に対する比率(%) | | 13.4 | 11.9 | 1.5 | 12.6 |

(注) 病床数は平成19年度が2,354床、平成18年度が2,359床である。

収益的収入として、一般会計から繰り入れた額は、総額で48億6,674万円で、前年度に比較して8億6,159万円(21.5%)増加している。

内訳で見ると、法第17条の2第1項第1号(その性質上、公営企業の収入をもって充てることが適当でない経費)の負担金が2億5,007万4,000円(33.1%)増加し、同項第2号(公営企業の性質上、一般会計が一部負担する必要がある経費)の負担金交付金が2億7,467万1,000円(9.7%)増加した。

法第17条の3(特別の理由により一般会計から補助するもの)の補助金は3億3,684万5,000円(79.9%)増加している。

また、医業収益（他会計負担金を除く。）に対する一般会計からの繰入比率は13.4%で、前年度に比較して1.5ポイント上昇している。

なお、資本的収入として一般会計から繰り入れた額は、建設改良費4,772万7,000円、企業債元金償還金17億3,767万7,000円、固定負債元金償還金4億5,250万3,000円で計21億9,017万円となっている。

これを、収益的収入の一般会計繰入金と合わせると、一般会計からの繰入総額は71億464万5,000円となり、前年度に比較して2億9,104万6,000円（4.3%）増加している。

ウ 病院別の経営状況

平成19年度における病院別の経営状況は、次のとおりである。（後掲別表2参照）
全県立病院が収支を改善しており、特に八重山病院は黒字を計上している。

（ア）北部病院

総収益は59億2,779万1,693円で、前年度に比較して3億3,477万7,451円（6.0%）増加している。

医業収益は前年度に比較して3.8%増加、その他医業収益は2.8%増加している。

医業外収益は、主に負担金交付金の増により34.3%増加している。

一方、総費用は60億5,540万353円で、主に給与費、材料費、及び特別損失の増により前年度に比較して1億1,026万1,426円（1.9%）増加している。

この結果、当年度は1億2,760万8,660円の純損失となり、前年度の純損失3億5,212万4,685円に比較して2億2,451万6,025円の減少となっている。

また、総収支比率は97.9%で、前年度に比較して3.8ポイント上回り、医業収支比率も94.0%で、前年度に比較して1.6ポイント上回っており、経営状況は改善している。

（イ）中部病院

総収益は126億954万2,524円で、前年度に比較して5億1,218万3,673円（4.2%）増加している。

医業収益は入院収益、外来収益等の増により、前年度に比較して3.2%増加している。

医業外収益は、主に他会計補助金の増により21.7%増加している。

一方、総費用は130億2,462万3,307円で、材料費及び経費の増により前年度に比較して4,373万1,264円（0.3%）増加している。

この結果、当年度は4億1,508万783円の純損失となり、前年度の純損失8億8,353万3,192円に比較して4億6,845万2,409円の減少となっている。

また、総収支比率は96.8%で、前年度に比較して3.6ポイント上回り、医業収支比率も93.9%で、前年度に比較して2.5ポイント上回っており、経営状況は改善している。

(ウ) 南部医療センター・こども医療センター

総収益は143億6,993万2,424円で、前年度に比較して43億7,469万4,711円(43.8%)増加している。

医業収益は、入院収益、外来収益、その他医業収益の増により、前年度に比較して24.1%増加している。

医業外収益は、他会計補助金、負担金交付金等の減により3.3%減少している。

一方、総費用は145億4,193万2,685円で、給与費、材料費、経費、の増により前年度に比較して19億6,723万3,774円(15.6%)増加している。

この結果、当年度は1億7,200万261円の純損失となり、前年度の純損失25億7,946万1,198円に比較して24億746万937円の減少となっている。

また、総収支比率は98.8%で、前年度に比較して19.3ポイント上回り、医業収支比率も77.7%で、前年度に比較して4.9ポイント上回っており、経営状況は改善している。

(エ) 宮古病院

総収益は46億780万3,913円で、前年度に比較して2億7,664万4,618円(6.4%)増加している。

医業収益は、入院収益、外来収益の増により前年度に比較し2.9%増加している。

医業外収益は、主に負担金交付金の増により30.0%増加している。

一方、総費用は46億3,387万8,075円で、主に給与費、減価償却費、医業外費用の減により前年度に比較し4,731万371円(1.0%)減少している。

この結果、当年度は2,607万4,162円の純損失となり、前年度の純損失3億5,002万9,151円に比較し3億2,395万4,989円の減少となっている。

また、総収支比率は99.4%で、前年度に比較して6.9ポイント上回り、医業収支比率も86.5%で、前年度に比較して3.3ポイント上回っており、経営状況は改善している。

(オ) 八重山病院

総収益は48億2,041万6,069円で、前年度に比較して3億8,483万534円(8.7%)増加している。

医業収益は、入院収益及び外来収益の増により、前年度に比較して8.1%増加している。

医業外収益は、他会計補助金、国庫補助金の増により13.1%増加している。

一方、総費用は48億317万8,668円で、給与費、材料費等の増により前年度に比較して5,446万2,344円(1.1%)増加している。

この結果、当年度は1,723万7,401円の黒字となり、前年度の純損失3億1,313万789円に比較して3億3,036万8,190円の収支改善となっている。

また、総収支比率は100.4%で、前年度に比較して7.0ポイント上回り、医業収支比率も91.5%で、前年度に比較して5.6ポイント上回っており、経営状況は改善している。

(カ) 精和病院

総収益は21億7,891万1,668円で、前年度に比較して2億2,182万3,461円(11.3%)増加している。

医業収益は、入院収益の減により、前年度に比較して0.3%減少している。

医業外収益は、主に他会計補助金、負担金交付金の増により45.6%増加している。

総費用は22億1,219万87円で、給与費、材料費等の増加により前年度に比較して7,645万1,284円(3.6%)増加している。

この結果、当年度は3,327万8,419円の純損失となり、前年度の純損失1億7,865万596円に比較して1億4,537万2,177円の減少となっている。

総収支比率は98.5%で、前年度に比較して6.9ポイント上回ったが、医業収支比率は68.7%で、前年度に比較して2.8ポイント下回っている。

エ 主な経営指標

平成19年度の主な経営指標を平成18年度全国平均と比較すると、次のとおりである。

| 区 分 | | 沖 縄 県 | | 全 国 | |
|---------------------------------|------------|---------|---------|---------|---------|
| | | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成18年度 | |
| 100床当たり入院患者数(人) | | 83.3 | 80.9 | 76.7 | |
| " 外来患者数(人) | | 99.1 | 93.4 | 100.4 | |
| 外 来 入 院 患 者 比 率 (%) | | 118.9 | 115.4 | 130.9 | |
| 職員1人1日当たり患者数(人) | 医 師 | 入 院 | 4.4 | 4.5 | 5.7 |
| | | 外 来 | 5.3 | 5.2 | 7.5 |
| | 看護部門 | 入 院 | 1.2 | 1.2 | 1.2 |
| | | 外 来 | 1.5 | 1.4 | 1.5 |
| 患者1人1日当たり診療収入、 医業収益、医業費用 (円) | 診療収入 | 入 院 | 38,805 | 36,981 | 36,021 |
| | | 外 来 | 9,725 | 9,331 | 10,185 |
| | 医業収益(A) | | 23,827 | 22,842 | 22,838 |
| | 医業費用(B) | | 27,796 | 27,586 | 27,087 |
| | 差 引(A)-(B) | | △ 3,969 | △ 4,744 | △ 4,249 |
| 職員1人1日当たり診療収入(円) | 医 師 | 223,973 | 215,101 | 281,839 | |
| | 看護部門 | 61,845 | 57,939 | 58,096 | |
| 薬品使用効率 (%) (薬品収入/薬品費用×100) | | 115.4 | 113.9 | 111.4 | |
| 医業収益に対する職員給与費(%) | | 66.9 | 71.6 | 62.2 | |
| 100床当たり職員数(人) | | 114.7 | 111.8 | 104.0 | |
| 1床当たり病院事業収益(千円) | | 18,925 | 16,582 | 17,958 | |
| " 病院事業費用(千円) | | 19,438 | 18,707 | 18,670 | |
| " 病院事業損失(千円) | | 513 | 2,125 | 712 | |
| " 医 業 収 益(千円) | | 15,862 | 14,533 | 14,769 | |
| " 医 業 費 用(千円) | | 18,504 | 17,551 | 17,517 | |
| " 医 業 損 失(千円) | | 2,642 | 3,018 | 2,748 | |
| 総 収 支 比 率 (%) | | 97.4 | 88.6 | 96.2 | |
| 医 業 収 支 比 率 (%) | | 85.7 | 82.8 | 84.3 | |
| 他会計繰入金対医業収益(他会計負担金を除く。)比率(%) | | 13.4 | 11.9 | 24.1 | |
| 1 床 当 たり 繰 入 額 (千円) | | 2,075 | 1,698 | 3,408 | |
| 他会計繰入金(収益的収入分)対標準財政規模比率(%) | | 1.609 | 1.338 | 0.908 | |

(ア) 100床当たり患者数

入院は83.3人で全国平均の76.7人を上回り、外来は99.1人で全国平均の100.4人を下回っている。外来入院患者比率は118.9%で、全国平均の130.9%を12.0ポイント下回っている。

(イ) 職員1人1日当たり患者数

入院患者数、外来患者数とも医師が全国平均を下回り、看護部門は全国平均と同人数である。

(ウ) 患者1人1日当たり診療収入

入院は全国平均を上回っており、外来は全国平均を下回っている。また、患者1人1日当たり医業収益及び医業費用はそれぞれ全国平均を上回り、医業損失は全国平均を下回っている。

(エ) 職員1人1日当たり診療収入

医師は全国平均を下回り、看護部門は上回っている。

(オ) 薬品使用効率

薬品使用効率は115.4%で、全国平均111.4%を4.0ポイント上回っている。

(カ) 100床当たり職員数

100床当たり職員数は114.7人で、全国平均の104.0人を10.7人上回っている。医業収益に対する職員給与費の割合は66.9%で、全国平均62.2%を4.7ポイント上回っている。

(キ) 総収支比率

総収支比率は97.4%で、全国平均96.2%を1.2ポイント上回っている。事業本体部分の収支比率である医業収支比率も85.7%で、全国平均84.3%を1.4ポイント上回っている。

(ク) 医業収益（他会計負担金を除く）に占める他会計繰入金の比率

繰入金の比率は13.4%で、全国平均24.1%に比較して10.7ポイント下回っており、1床当たり繰入額は207万5,000円で、全国平均340万8,000円に比較して133万3,000円少ない。

県の標準財政規模に対する他会計繰入金の比率は1.609%となっており、全国平均の0.908%を上回っている。

(3) 剰余金計算書

ア 利益剰余金の部

| 区 分 | 金 額 |
|------------|----------------|
| | 円 |
| 前年度未処理欠損金 | 51,873,420,141 |
| 前年度欠損金処理額 | 31,424,397,623 |
| 繰越欠損金年度末残高 | 20,449,022,518 |
| 当年度純損失 | 1,206,912,818 |
| 当年度未処理欠損金 | 21,655,935,336 |

前年度未処理欠損金は518億7,342万141円であったが、資本剰余金の取り崩しにより314億2,439万7,623円を処理し、繰越欠損金年度末残高は204億4,902万2,518円となった。

当年度は12億691万2,818円の純損失を生じたため、当年度未処理欠損金は216億5,593万5,336円となっている。

イ 資本剰余金の部

| 区 分 | 前年度末残高 | 前年度処分高 | 当年度発生高 | 当年度処分額 | 当年度末残額 |
|---------|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 受贈財産評価額 | 1,048,111,355 | 0 | 2,947,500 | 111,495,970 | 939,562,885 |
| 寄附金 | 0 | 0 | 969,000 | 41,353 | 927,647 |
| 他会計負担金 | 36,111,774,783 | 31,384,151,950 | 1,785,406,937 | 282,579,926 | 6,230,449,844 |
| 他会計補助金 | 6,420,827,017 | 40,245,673 | 452,503,000 | 0 | 6,833,084,344 |
| 国庫補助金 | 17,551,502,198 | 0 | 27,232,995 | 1,793,572,651 | 15,785,162,542 |
| 計 | 61,132,215,353 | 31,424,397,623 | 2,269,059,432 | 2,187,689,900 | 29,789,187,262 |

(ア) 前年度処分高

欠損金処理のため、314億2,439万7,623円を取り崩したものである。

(イ) 当年度発生高

当年度発生高は、固定資産の取得に充てるために受け入れた資金等の増加分を示すものである。受贈財産評価額の294万7,500円は、機械備品の寄贈等によるものである。

寄附金は96万9,000円を受け入れた。

他会計負担金の17億8,540万6,937円は、一般会計繰出金受け入れによるものである。

他会計補助金の4億5,250万3,000円は、企業債元金償還金に係る補助金の受け入れによるものである。

国庫補助金2,723万2,995円は、施設整備及び医療機器購入等に係る補助金の受け入れによるものである。

(ウ) 当年度処分額

当年度処分額は、旧那覇病院建物等を除却したことから、これら固定資産の取得財源の一部である他会計負担金、国庫補助金の資本剰余金を地方公営企業法施行令第24条の2の規定により取り崩している。

発生と処分により、受贈財産評価額は1億854万8,470円減少、寄附金が92万7,647円増加、他会計負担金が15億282万7,011円増加、他会計補助金が4億5,250万3,000円増加、国庫補助金が17億6,633万9,656円減少している。

また、前年度において地方公営企業法施行令第24条の3第2項ただし書きの規定により314億2,439万7,623円資本剰余金を取り崩している。

この結果、当年度末の資本剰余金残高は297億8,918万7,262円となり、前年度末に比較して313億4,302万8,091円（51.3%）減少している。

(4) 欠損金処理計算書

| 区 分 | 金 額 |
|-----------|----------------|
| | 円 |
| 当年度未処理欠損金 | 21,655,935,336 |
| 欠損金処理額 | 0 |
| 翌年度繰越欠損金 | 21,655,935,336 |

当年度未処理欠損金216億5,593万5,336円は全額翌年度へ繰り越している。

(5) 貸借対照表

事業の財政状態は、次のとおりである。

| 区 分 科 目 | 平成19年度 | | 平成18年度 | | 対前年度比較 | |
|------------------|------------------|--------|------------------|--------|-----------------|---------|
| | 金 額 (A) | 構成比 | 金 額 (B) | 構成比 | (A) - (B) | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 固 定 資 産 | 51,614,277,339 | 82.0 | 57,220,736,722 | 84.5 | △ 5,606,459,383 | △ 9.8 |
| 有 形 固 定 資 産 | 51,601,673,795 | 81.9 | 57,208,133,178 | 84.6 | △ 5,606,459,383 | △ 9.8 |
| 土 地 | 4,278,549,977 | 6.8 | 4,982,723,049 | 7.3 | △ 704,173,072 | △ 14.1 |
| 建 物 | 47,047,140,284 | 74.6 | 50,921,234,805 | 75.2 | △ 3,874,094,521 | △ 7.6 |
| 建物減価償却累計額 | △ 9,950,773,375 | △ 15.8 | △ 10,197,474,523 | △ 15.0 | 246,701,148 | △ 2.4 |
| 構 築 物 | 1,897,336,521 | 3.0 | 1,966,447,367 | 2.9 | △ 69,110,846 | △ 3.5 |
| 構築物減価償却累計額 | △ 620,352,758 | △ 1.0 | △ 562,445,367 | △ 0.8 | △ 57,907,391 | 10.3 |
| 機 械 備 品 | 19,116,557,531 | 30.4 | 19,588,115,952 | 28.9 | △ 471,558,421 | △ 2.4 |
| 機械備品減価償却累計額 | △ 10,188,590,728 | △ 16.2 | △ 9,515,726,326 | △ 14.0 | △ 672,864,402 | 7.1 |
| 車 両 | 42,496,359 | 0.1 | 42,496,359 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| 車両減価償却累計額 | △ 22,790,016 | 0.0 | △ 19,338,138 | 0.0 | △ 3,451,878 | 17.9 |
| 建 設 仮 勘 定 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | |
| その他有形固定資産 | 2,100,000 | 0.0 | 2,100,000 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| その他有形固定資産減価償却累計額 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | |
| 無 形 固 定 資 産 | 12,603,544 | 0.0 | 12,603,544 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 電 話 加 入 権 | 8,395,344 | 0.0 | 8,395,344 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| モ デ ム 加 入 権 | 4,208,200 | 0.0 | 4,208,200 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 流 動 資 産 | 10,268,496,784 | 16.3 | 9,427,420,138 | 13.8 | 841,076,646 | 8.9 |
| 現 金 ・ 預 金 | 1,664,675,337 | 2.6 | 1,023,987,889 | 1.5 | 640,687,448 | 62.6 |
| 未 収 金 | 7,888,459,763 | 12.5 | 7,711,229,397 | 11.4 | 177,230,366 | 2.3 |
| 有 価 証 券 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | |
| 貯 蔵 品 | 705,892,333 | 1.1 | 685,132,217 | 1.0 | 20,760,116 | 3.0 |
| 前 払 費 用 | 1,475,561 | 0.0 | 2,020,410 | 0.0 | △ 544,849 | △ 27.0 |
| 前 払 金 | 2,993,790 | 0.0 | 50,225 | 0.0 | 2,943,565 | 5,860.8 |
| その他流動資産 | 5,000,000 | 0.0 | 5,000,000 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 繰 延 勘 定 | 1,071,232,158 | 1.7 | 1,177,070,705 | 1.7 | △ 105,838,547 | △ 9.0 |
| 控除対象外消費税額 | 1,071,232,158 | 1.7 | 1,177,070,705 | 1.7 | △ 105,838,547 | △ 9.0 |
| 資 産 合 計 | 62,954,006,281 | 100.0 | 67,825,227,565 | 100.0 | △ 4,871,221,284 | △ 7.2 |

| 区 分 科 目 | 平成19年度 | | 平成18年度 | | 対前年度比較 | |
|-------------------|------------------|--------|------------------|--------|------------------|--------|
| | 金 額 (A) | 構成比 | 金 額 (B) | 構成比 | (A) - (B) | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 固 定 負 債 | 2,037,902,529 | 3.3 | 2,037,902,529 | 3.0 | 0 | 0.0 |
| 他 会 計 借 入 金 | 2,000,000,000 | 3.2 | 2,000,000,000 | 2.9 | 0 | 0.0 |
| 引 当 金 | 37,902,529 | 0.1 | 37,902,529 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| 流 動 負 債 | 14,063,962,045 | 22.4 | 15,409,740,087 | 22.7 | △ 1,345,778,042 | △ 8.7 |
| 一 時 借 入 金 | 8,000,000,000 | 12.7 | 9,400,000,000 | 13.9 | △ 1,400,000,000 | △ 14.9 |
| 未 払 金 | 5,833,259,542 | 9.3 | 5,844,157,940 | 8.6 | △ 10,898,398 | △ 0.2 |
| 前 受 金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | |
| そ の 他 流 動 負 債 | 230,702,503 | 0.4 | 165,582,147 | 0.2 | 65,120,356 | 39.3 |
| 負 債 合 計 | 16,101,864,574 | 25.6 | 17,447,642,616 | 25.7 | △ 1,345,778,042 | △ 7.7 |
| 資 本 金 | 38,718,889,781 | 61.5 | 41,118,789,737 | 60.7 | △ 2,399,899,956 | △ 5.8 |
| 自 己 資 本 金 | 1,878,584,732 | 3.0 | 1,878,584,732 | 2.8 | 0 | 0.0 |
| 借 入 資 本 金 | 36,840,305,049 | 58.5 | 39,240,205,005 | 57.9 | △ 2,399,899,956 | △ 6.1 |
| 企 業 債 | 36,840,305,049 | 58.5 | 39,240,205,005 | 57.9 | △ 2,399,899,956 | △ 6.1 |
| 利 余 金 | 8,133,251,926 | 13.0 | 9,258,795,212 | 13.6 | △ 1,125,543,286 | △ 12.2 |
| 資 本 剩 余 金 | 29,789,187,262 | 47.4 | 61,132,215,353 | 90.1 | △ 31,343,028,091 | △ 51.3 |
| 受 贈 財 産 評 価 額 | 939,562,885 | 1.5 | 1,048,111,355 | 1.5 | △ 108,548,470 | △ 10.4 |
| 寄 附 金 | 927,647 | 0.0 | 0 | 0.0 | 927,647 | 皆増 |
| 他 会 計 負 担 金 | 6,230,449,844 | 9.9 | 36,111,774,783 | 53.2 | △ 29,881,324,939 | △ 82.7 |
| 他 会 計 補 助 金 | 6,833,084,344 | 10.9 | 6,420,827,017 | 9.5 | 412,257,327 | 6.4 |
| 国 庫 補 助 金 | 15,785,162,542 | 25.1 | 17,551,502,198 | 25.9 | △ 1,766,339,656 | △ 10.1 |
| 利 益 剩 余 金 | △ 21,655,935,336 | △ 34.4 | △ 51,873,420,141 | △ 76.5 | 30,217,484,805 | △ 58.3 |
| 当 年 度 未 処 理 欠 損 金 | 21,655,935,336 | 34.4 | 51,873,420,141 | 76.5 | △ 30,217,484,805 | △ 58.3 |
| 資 本 合 計 | 46,852,141,707 | 74.4 | 50,377,584,949 | 74.3 | △ 3,525,443,242 | △ 7.0 |
| 負 債 資 本 合 計 | 62,954,006,281 | 100.0 | 67,825,227,565 | 100.0 | △ 4,871,221,284 | △ 7.2 |

(注) 「構成比」欄は、四捨五入の関係上、内訳の合計と計数が一致しない場合がある。

当年度末の資産合計は629億5,400万6,281円で、前年度に比較して7.2%減少している。

負債合計は161億186万4,574円で前年度に比較して7.7%減少し、資本合計は468億5,214万1,707円で前年度に比較して7.0%減少している。その結果負債資本合計は629億5,400万6,281円で、前年度に比較して7.2%減少している。

資産は、旧那覇病院土地売却等により固定資産が減少し、医業収益の増に起因する現金預金の増により流動資産は増加している。

負債は、一時借入金、未払金ともに減少し、その結果負債合計は減少している。企業債、剰余金の減により資本合計は減少している。

各科目の動向は、次のとおりである。

ア 固定資産

土地は、旧那覇病院の土地売却により7億417万3,072円の減となり、当年度末残高は42億7,854万9,977円となっている。

建物は、旧那覇病院建物撤去等により36億2,739万3,373円の減となり、当年度末残高は370億9,636万6,909円となっている。

構築物の当年度末残高は、12億7,698万3,763円である。

器械備品は、固定資産の除却等により減少があり、当年度末残高は89億2,796万6,803円となっている。

これらの結果、固定資産総額（減価償却後の残高）は516億1,427万7,339円となり、前年度末より9.8%減少している。

イ 流動資産

流動資産は102億6,849万6,784円で、前年度に比較して8億4,107万6,646円（8.9%）増加している。主な内訳をみると、現金・預金、未収金により8億1,791万7,814円、貯蔵品は2,076万116円増加している。

ウ 繰延勘定

控除対象外消費税額の当年度末残高は10億7,123万2,158円で、前年度に比較して9.0%減少している。

エ 固定負債

固定負債は、前年度末と同額の20億3,790万2,529円である。うち20億円は沖縄県産業振興基金からの長期借入金である。

オ 流動負債

流動負債は、総額で140億6,396万2,045円で、前年度に比較して8.7%減少している。

流動資産が8億4,107万6,646円増加し、流動負債が13億4,577万8,042円減少したため、合計21億8,685万4,688円が正味運転資本の増加となっており短期の資金繰りは前年度より改善している。(36p別表4-2「正味運転資本増減明細書」)

流動比率(流動資産の流動負債に対する割合)も73.0%となり、前年度の61.2%から改善している。

しかし、流動資産と流動負債の総額を比較すると、流動負債が37億9,546万5,261円上回っており、不良債務となっている。

カ 資本金

企業債は、17億7,790万円を借り入れた一方で41億7,779万9,956円を償還した結果、前年度に比較して23億9,989万9,956円(6.1%)減少しており、当年度末残高は368億4,030万5,049円となっている。

自己資本金は変動がない。

自己資本構成比率(負債資本合計に占める自己資本の割合)は、当年度は15.9%で前年度16.4%に比較して0.5ポイント低下しており、長期健全性は低下している。

キ 剰余金

資本剰余金については欠損金処理に充当したため、313億4,302万8,091円(51.3%)の大幅減となった。

利益剰余金は、当年度純損失12億691万2,818円を加えて、マイナス216億5,593万5,336円となっている。

これらの結果、剰余金は81億3,325万1,926円となり、12.2%減少している。

3 資金収支について

当年度は、受け入れ資金総額が、前年度からの繰越金10億2,398万7,889円を含めて851億316万7,908円、支払総額が834億3,849万2,571円で、差し引き16億6,467万5,337円の残高となっている。(37P別表5「資金収支表」)

この残高の内訳は、手持ち現金が376万1,026円、普通預金が16億6,091万4,311円で、普通預金の残高は取扱金融機関の残高証明書と一致している。

付 表

別表1

経営分析比率表

| 項目 | 算式 | 平成19年度 | | 18年度 比率 | 対前年度 増減 | 18年度 全国平均 | |
|------------|----------------|---------------------------|----------------------|------------|------------|--------------|---|
| | | 計 | 率 | | | | |
| 資産及び資本構成比率 | (1)自己資本構成比率 | 自己資本(注1) 総資本(注2) | × 100 | % | | % | |
| | (2)固定資産対長期資本比率 | 固定資産 長期資本(注3) | × 100 | % | | % | |
| | (3)固定比率 | 固定資産 自己資本 | × 100 | % | | % | |
| | (4)流動比率 | 流動資産 流動負債 | × 100 | % | | % | |
| | (5)当座比率 | 現金預金+未収金 流動負債 | × 100 | % | | % | |
| | (6)自己資本回転率 | 医業収益 (期首自己資本+期末自己資本)÷2 | | 回 | | 回 | |
| | (7)固定資産回転率 | 医業収益 (期首固定資産+期末固定資産)÷2 | | 回 | | 回 | |
| | (8)流動資産回転率 | 医業収益 (期首流動資産+期末流動資産)÷2 | | 回 | | 回 | |
| | (9)未収金回転率 | 医業収益 (期首未収金+期末未収金)÷2 | | 回 | | 回 | |
| | (10)総資本利益率 | 当年度純利益 (期首総資本+期末総資本)÷2 | × 100 | % | | % | |
| | 損益に関する各種比率 | (11)総収益対総費用比率 | 総収益 総費用 | × 100 | % | | % |
| | | (12)医業収益対医業費用比率 | 医業収益 医業費用 | × 100 | % | | % |
| | | (13)職員一人一日当り収入(医師) | 入院外来収益 年延職員数 | | 円 | | 円 |
| | | (14)職員一人一日当り収入(看護部門) | 入院外来収益 年延職員数 | | 円 | | 円 |
| | | (15)患者一人一日当り薬品費 | 薬品費(注4) 年延入院外来患者数 | | 円 | | 円 |
| | | (16)医業収益に対する医療材料費の割合 | 医療材料費(注5) 医業収益 | × 100 | % | | % |

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金 = 1,878,584,732 + 8,133,251,926 = 10,011,836,658円

2 総資本 = 負債資本合計 = 62,954,006,281円

3 長期資本 = 資本金 + 剰余金 + 固定負債 = 38,718,889,781 + 8,133,251,926 + 2,037,902,529 = 48,890,044,236円

4 薬品費(投薬、注射にかかる薬品費で検査試薬、造影剤等を除いた薬品費) = 5,361,762,095 - 1,655,212,803 = 3,706,549,292円

5 医療材料費 = 材料費 - 給食材料費 = 9,516,364,177 - 329,610,665 = 9,186,753,512円

病院別比較損益計算書

別表2

(単位：円、%)

| 区分 | 県立病院 | | | 北 部 病 院 | | | 中 部 病 院 | | | 伸率 | 増 減 | 伸率 |
|----------|-----------------|---------------|---------|---------------|---------------|--------|----------------|----------------|--------------|--------|-----|----|
| | 平成19年度決算 | 増 減 | 伸率 | 平成19年度決算 | 増 減 | 伸率 | 平成19年度決算 | 増 減 | 伸率 | | | |
| 病院事業収益 | 44,550,067,631 | 5,432,713,403 | 13.9 | 5,927,791,693 | 334,777,451 | 6.0 | 12,609,542,524 | 12,097,358,851 | 512,183,673 | 4.2 | | |
| 医療収益 | 37,338,662,922 | 3,055,123,503 | 8.9 | 5,393,837,736 | 199,286,124 | 3.8 | 11,726,789,960 | 11,366,975,019 | 359,814,941 | 3.2 | | |
| 入院収益 | 27,774,382,707 | 2,004,929,475 | 7.8 | 3,736,688,996 | 103,888,037 | 2.9 | 9,334,158,160 | 9,069,673,560 | 264,484,600 | 2.9 | | |
| 外来収益 | 7,705,576,014 | 805,162,254 | 11.7 | 1,384,107,042 | 129,363,721 | 9.5 | 2,063,536,708 | 1,952,599,496 | 110,937,212 | 5.7 | | |
| 診療所収益 | 573,585,116 | △ 28,846,226 | △ 4.8 | 113,413,738 | 142,682,653 | △ 20.5 | 25,700,507 | 24,880,832 | 819,675 | 3.3 | | |
| その他医療収益 | 1,285,119,085 | 273,878,000 | 27.1 | 159,657,960 | 4,363,281 | 2.8 | 303,394,585 | 319,821,131 | △ 16,426,546 | △ 5.1 | | |
| 医療外収益 | 4,846,007,222 | 686,283,118 | 16.5 | 533,025,983 | 136,079,829 | 34.3 | 877,886,279 | 721,124,046 | 156,762,233 | 21.7 | | |
| 受取利息配当金 | 661 | △ 9,698 | △ 93.6 | 0 | 0 | — | 661 | 0 | 661 | 皆増 | | |
| 他会計補助金 | 775,229,000 | 353,520,000 | 83.8 | 144,540,000 | 73,030,000 | 102.1 | 255,020,000 | 56,307,000 | 198,713,000 | 352.9 | | |
| 国庫補助金 | 462,855,150 | 24,103,361 | 5.5 | 50,012,000 | △ 27,613,000 | △ 35.6 | 127,884,000 | 112,771,000 | 15,113,000 | 13.4 | | |
| 負担金交付金 | 3,103,635,000 | 274,671,000 | 9.7 | 301,348,000 | 64,960,000 | 27.5 | 227,300,000 | 256,519,000 | △ 29,219,000 | △ 11.4 | | |
| その他医療外収益 | 504,287,411 | 33,998,455 | 7.2 | 37,125,983 | 25,702,829 | 225.0 | 267,681,618 | 295,527,046 | △ 27,845,428 | △ 9.4 | | |
| 特別利益 | 2,365,397,487 | 1,691,306,782 | 250.9 | 927,974 | △ 598,502 | △ 39.2 | 4,866,285 | 9,259,786 | △ 4,393,501 | △ 47.4 | | |
| 固定資産売却益 | 2,343,993,928 | 1,697,302,240 | 262.5 | 0 | 0 | — | 4,866,285 | 9,259,786 | △ 4,393,501 | △ 47.4 | | |
| 固定資産修繕正益 | 21,403,559 | △ 27,396,672 | △ 21.9 | 927,974 | △ 598,502 | △ 39.2 | 0 | 0 | 0 | — | | |
| その他特別利益 | 0 | △ 2,345 | 皆減 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | | |
| 病院事業費用 | 45,756,980,449 | 1,626,365,266 | 3.7 | 6,055,400,363 | 110,261,426 | 1.9 | 13,024,623,307 | 12,980,892,043 | 43,731,264 | 0.3 | | |
| 医療費用 | 43,558,274,896 | 2,155,205,923 | 5.2 | 5,736,779,460 | 116,643,301 | 2.1 | 12,488,873,712 | 12,433,362,389 | 55,511,323 | 0.4 | | |
| 給与費 | 24,981,491,044 | 336,182,707 | 1.4 | 3,368,740,775 | 3,265,703,181 | 3.2 | 6,895,093,749 | 6,980,896,351 | △ 85,802,602 | △ 1.2 | | |
| 材料費 | 9,516,364,177 | 932,276,970 | 10.9 | 1,353,456,502 | 64,464,192 | 5.0 | 3,284,638,555 | 3,155,163,888 | 129,474,667 | 4.1 | | |
| 経費 | 5,433,604,195 | 179,273,175 | 3.4 | 775,361,102 | 807,455,919 | △ 4.0 | 1,577,100,406 | 1,517,792,513 | 59,307,893 | 3.9 | | |
| 減価償却費 | 2,570,338,541 | △ 144,952,345 | △ 5.3 | 208,275,657 | 230,765,112 | △ 9.7 | 661,952,813 | 702,140,228 | △ 40,187,415 | △ 5.7 | | |
| 資産減耗費 | 920,639,972 | 864,568,935 | 1,541.9 | 17,022,143 | 10,163,901 | 67.5 | 17,377,913 | 20,827,112 | △ 3,449,199 | △ 16.6 | | |
| 研究研修費 | 135,836,967 | △ 12,143,519 | △ 8.2 | 13,923,281 | 17,055,736 | △ 18.4 | 52,710,276 | 56,542,297 | △ 3,832,021 | △ 6.8 | | |
| 医療外費用 | 2,092,420,042 | 28,765,667 | 1.4 | 312,535,743 | 314,073,191 | △ 0.5 | 502,741,164 | 520,896,508 | △ 18,155,344 | △ 3.5 | | |
| 支払利息 | 1,096,127,043 | △ 107,275,386 | △ 8.9 | 195,944,975 | 200,083,887 | △ 2.1 | 227,368,953 | 245,012,776 | △ 17,643,823 | △ 7.2 | | |
| 繰延勘定償却 | 128,106,398 | △ 11,937,872 | △ 8.5 | 9,604,510 | 8,206,333 | 17.0 | 23,141,561 | 35,179,717 | △ 12,038,156 | △ 34.2 | | |
| 雑損失 | 868,186,601 | 147,978,925 | 20.5 | 106,986,258 | 105,782,971 | 1.1 | 252,230,650 | 240,704,015 | 11,526,635 | 4.8 | | |
| 特別損失 | 106,285,511 | △ 557,606,324 | △ 84.0 | 6,085,150 | 10,929,577 | △ 44.3 | 33,008,431 | 26,633,146 | 6,375,285 | 23.9 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | △ 574,004,455 | 皆減 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | | |
| 過年度損益修正損 | 106,285,511 | 16,398,131 | 18.2 | 6,085,150 | 10,929,577 | △ 44.3 | 33,008,431 | 26,633,146 | 6,375,285 | 23.9 | | |
| 純 損 益 | △ 1,206,912,818 | 3,806,348,137 | △ 75.9 | △ 127,608,660 | 224,516,025 | △ 63.8 | △ 415,080,783 | △ 883,533,192 | 468,452,409 | △ 53.0 | | |
| 総収支比率 | 97.4 | 8.8 | — | 97.9 | 3.8 | — | 96.8 | 93.2 | 3.6 | — | | |
| 医療収支比率 | 85.7 | 2.9 | — | 94.0 | 1.6 | — | 93.9 | 91.4 | 2.5 | — | | |

病院別比較損益計算書

別表2

(単位：円、%)

| 区分 | 南部医療センター・こども医療センター | | 宮古病院 | | 八重山病院 | | 伸率 | |
|----------|--------------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------|
| | 平成19年度決算 | 平成18年度決算 | 平成19年度決算 | 平成18年度決算 | 平成19年度決算 | 平成18年度決算 | | |
| 病院事業収益 | 14,369,932,424 | 9,995,237,713 | 4,374,694,711 | 4,331,159,295 | 276,644,618 | 4,435,585,535 | 384,830,534 | 8.7 |
| 医療収益 | 10,669,362,869 | 8,595,715,142 | 2,073,647,727 | 3,750,535,712 | 110,195,513 | 3,918,442,601 | 317,029,487 | 8.1 |
| 入院収益 | 7,979,130,641 | 6,583,399,865 | 1,395,730,776 | 2,758,677,212 | 16,039,853 | 2,582,861,533 | 245,548,813 | 9.5 |
| 外来収益 | 1,796,813,195 | 1,411,856,599 | 384,956,596 | 854,457,310 | 81,364,672 | 1,125,478,714 | 90,028,695 | 8.0 |
| 診療所収益 | 232,816,306 | 228,532,629 | 4,283,677 | 63,741,917 | △ 1,028,074 | 142,593,311 | △ 3,652,589 | △ 2.6 |
| その他医療収益 | 660,602,727 | 371,926,049 | 288,676,678 | 73,659,273 | 13,819,062 | 67,509,043 | △ 14,895,432 | △ 22.1 |
| 医療外収益 | 1,349,602,447 | 1,396,305,929 | △ 46,703,482 | 569,437,898 | 170,611,638 | 515,867,696 | 67,541,380 | 13.1 |
| 受取利息配当金 | 0 | 8,477 | △ 8,477 | 0 | 0 | 1,882 | △ 1,882 | 皆減 |
| 他会計補助金 | 107,944,000 | 167,157,000 | △ 59,213,000 | 30,344,000 | 66,742,000 | 20,684,000 | 66,041,000 | 319.3 |
| 国庫補助金 | 174,512,000 | 163,551,000 | 10,961,000 | 25,755,989 | 2,067,661 | 58,792,000 | 21,820,000 | 37.1 |
| 負担金交付金 | 919,323,000 | 954,613,000 | △ 35,290,000 | 503,215,000 | 101,453,000 | 410,546,000 | △ 17,501,000 | △ 4.3 |
| その他医療外収益 | 147,823,447 | 110,976,452 | 36,846,995 | 10,122,909 | 348,977 | 25,843,814 | △ 2,816,738 | △ 10.9 |
| 特別利益 | 2,350,967,108 | 3,216,642 | 2,347,750,466 | 11,185,685 | △ 4,162,533 | 1,534,905 | 259,667 | 20.4 |
| 固定資産売却益 | 2,343,993,928 | 0 | 2,343,993,928 | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| 過年度損益修正益 | 6,973,180 | 3,216,642 | 3,756,538 | 11,183,340 | △ 4,160,188 | 1,534,905 | 259,667 | 20.4 |
| その他特別利益 | 0 | 0 | 0 | 2,345 | △ 2,345 | 0 | 0 | — |
| 病院事業費用 | 14,541,932,685 | 12,574,698,911 | 1,967,233,774 | 4,681,188,446 | △ 47,310,371 | 4,803,178,668 | 4,748,716,324 | 1.1 |
| 医療費用 | 13,736,378,905 | 11,801,283,618 | 1,935,095,287 | 4,505,326,282 | △ 39,687,202 | 4,628,633,271 | 4,560,049,219 | 1.5 |
| 給与費 | 7,004,706,119 | 6,710,469,720 | 294,236,399 | 2,919,973,971 | △ 44,395,900 | 2,925,342,227 | 2,895,552,316 | 1.0 |
| 材料費 | 2,815,349,053 | 2,169,659,441 | 645,689,612 | 821,488,781 | 15,220,812 | 938,792,599 | 874,161,895 | 7.4 |
| 経費 | 1,685,454,664 | 1,511,645,634 | 173,809,030 | 565,127,351 | 9,080,165 | 585,139,767 | △ 698,467 | △ 0.1 |
| 減価償却費 | 1,315,397,468 | 1,362,454,050 | △ 47,056,582 | 175,647,832 | △ 14,679,289 | 162,181,752 | 184,870,236 | △ 12.3 |
| 資産減耗費 | 879,827,688 | 5,935,338 | 873,892,350 | 7,719,942 | △ 4,542,078 | 3,136,714 | 6,112,748 | △ 48.7 |
| 研究研修費 | 35,643,913 | 41,119,435 | △ 5,475,522 | 15,368,385 | △ 370,912 | 14,040,212 | 13,513,790 | 3.9 |
| 医療外費用 | 771,282,436 | 744,506,694 | 26,775,742 | 153,516,661 | △ 9,059,394 | 166,665,393 | 177,708,460 | △ 6.2 |
| 支払利息 | 445,009,079 | 468,978,051 | △ 23,968,972 | 77,471,790 | △ 6,628,780 | 84,693,670 | 90,662,660 | △ 6.6 |
| 繰延勘定償却 | 83,021,753 | 83,525,808 | △ 504,055 | 5,560,551 | △ 484,070 | 5,807,820 | 6,330,769 | △ 8.3 |
| 雑損失 | 243,251,604 | 192,002,835 | 51,248,769 | 70,484,320 | △ 1,946,544 | 76,163,903 | △ 4,551,128 | △ 5.6 |
| 特別損失 | 34,271,344 | 28,908,599 | 5,362,745 | 23,781,748 | 1,436,225 | 7,880,004 | △ 3,078,641 | △ 28.1 |
| 固定資産売却損 | 0 | 14,789,962 | △ 14,789,962 | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| 過年度損益修正損 | 34,271,344 | 14,118,637 | 20,152,707 | 22,345,523 | 1,436,225 | 7,880,004 | △ 3,078,641 | △ 28.1 |
| 純損益 | △ 172,000,261 | △ 2,579,461,198 | 2,407,460,937 | △ 350,029,151 | 323,954,989 | 17,237,401 | 330,368,190 | △ 105.5 |
| 総収支比率 | 98.8 | 79.5 | 19.3 | 92.5 | 6.9 | 100.4 | 93.4 | — |
| 医療収支比率 | 77.7 | 72.8 | 4.9 | 83.2 | 3.3 | 91.5 | 85.9 | — |

病院別比較損益計算書

(単位:円、%)

別表2

| 区分 | 精和病院 | | 病院事業局 | | 伸率 | |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|
| | 平成19年度決算 | 平成18年度決算 | 平成19年度決算 | 平成18年度決算 | | |
| 病院事業収益 | 2,178,911,668 | 1,957,088,207 | 35,669,340 | 707,910,385 | △ 672,241,045 | △ 95.0 |
| 医療収益 | 1,452,443,044 | 1,457,277,809 | 26,000 | 51,524 | 25,524 | — |
| 入院収益 | 1,121,307,499 | 1,142,020,103 | 0 | 0 | 0 | — |
| 外来収益 | 309,789,678 | 292,278,320 | 0 | 0 | 0 | — |
| 診療所収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| その他医療収益 | 21,345,867 | 22,979,386 | 26,000 | 51,524 | 25,524 | — |
| 医療外収益 | 726,390,561 | 499,025,224 | 35,643,340 | 61,017,157 | △ 25,373,817 | △ 41.6 |
| 受取利息配当金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| 他会計補助金 | 64,808,000 | 29,147,000 | 19,106,000 | 46,560,000 | △ 27,454,000 | △ 59.0 |
| 国庫補助金 | 329,500 | 256,800 | 1,682,000 | 0 | 1,682,000 | 皆増 |
| 負担金交付金 | 657,938,000 | 467,111,000 | 13,000 | 572,000 | △ 559,000 | △ 97.7 |
| その他医療外収益 | 3,315,061 | 2,510,424 | 14,842,340 | 13,885,157 | 957,183 | 6.9 |
| 特別利益 | 78,063 | 785,174 | 0 | 646,841,704 | △ 646,691,688 | 皆減 |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 | 0 | 646,691,688 | △ 646,691,688 | 皆減 |
| 過年度損益修正益 | 78,063 | 785,174 | 0 | 150,016 | △ 150,016 | 皆減 |
| その他特別利益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| 病院事業費用 | 2,212,190,087 | 2,135,738,803 | 485,777,274 | 1,064,241,729 | △ 578,464,455 | △ 54.4 |
| 医療費用 | 2,115,064,595 | 2,037,203,857 | 386,905,893 | 445,707,469 | △ 58,801,576 | △ 13.2 |
| 給与費 | 1,598,991,064 | 1,532,035,769 | 313,139,039 | 340,677,029 | △ 27,537,990 | △ 8.1 |
| 材料費 | 287,417,875 | 274,620,892 | 0 | 0 | 0 | — |
| 経費 | 162,657,934 | 168,077,234 | 73,682,806 | 98,394,135 | △ 24,711,329 | △ 25.1 |
| 減価償却費 | 61,562,308 | 58,021,995 | 0 | 1,391,433 | △ 1,391,433 | 皆減 |
| 資産減耗費 | 97,660 | 404,344 | 0 | 4,907,652 | △ 4,907,652 | 皆減 |
| 研究研修費 | 4,437,764 | 4,043,623 | 84,048 | 337,220 | △ 253,172 | △ 75.1 |
| 医療外費用 | 95,871,288 | 98,058,128 | 98,866,751 | 54,894,733 | 43,972,018 | 80.1 |
| 支払利息 | 71,528,022 | 74,172,485 | 739,334 | 47,020,780 | △ 46,281,446 | △ 98.4 |
| 繰延勘定償却 | 1,454,273 | 1,241,092 | 0 | 0 | 0 | — |
| 雑損失 | 22,888,993 | 22,644,551 | 98,127,417 | 7,873,953 | 90,253,464 | 1,146.2 |
| 特別損失 | 1,254,204 | 476,818 | 4,630 | 563,639,527 | △ 563,634,897 | △ 99.9 |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 | 0 | 559,214,493 | △ 559,214,493 | 皆減 |
| 過年度損益修正損 | 1,254,204 | 476,818 | 4,630 | 4,425,034 | △ 4,420,404 | △ 99.9 |
| 純損益 | △ 33,278,419 | △ 178,650,596 | △ 450,107,934 | △ 356,331,344 | △ 93,776,590 | 26.3 |
| 総収支比率 | 98.5 | 91.6 | 7.3 | 66.5 | △ 59.2 | — |
| 医療収支比率 | 88.7 | 71.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — |

病院別経営指標

別表3

| 区分 | 県立病院計 | | 北都病院 | | 中部病院 | | 南都医療センター・子ども医療センター | | 宮古病院 | | 八雲山病院 | | 精和病院 | | 平成18年度全国平均 | | | |
|-------------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------------|--------|--------|--------|
| | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成18年度 | 全事業 | 黒字病院 | 赤字病院 | |
| 病床利用率 (%) | 83.0 | 80.9 | 88.1 | 87.1 | 95.8 | 96.3 | 95.8 | 95.8 | 82.5 | 66.2 | 67.9 | 68.3 | 67.3 | 74.7 | 76.9 | 77.5 | 80.9 | 76.1 |
| 1日平均入院(人) | 1,956 | 1,909 | 288 | 285 | 527 | 530 | 416 | 358 | 260 | 267 | 239 | 235 | 226 | 234 | 244 | 250 | 242 | 242 |
| 患者数 | 3,475 | 3,295 | 596 | 602 | 858 | 828 | 771 | 657 | 488 | 460 | 655 | 645 | 106 | 102 | 462 | 411 | 484 | 484 |
| 職員1人1日 | 入院(人) | 4.4 | 6.0 | 5.6 | 3.3 | 3.3 | 3.1 | 2.9 | 6.4 | 6.6 | 5.6 | 5.6 | 21.5 | 23.4 | 5.7 | 6.3 | 5.5 | 5.5 |
| | 外来(人) | 5.3 | 5.2 | 5.3 | 5.2 | 3.6 | 3.5 | 3.8 | 8.0 | 7.6 | 10.2 | 10.3 | 6.8 | 6.8 | 7.5 | 7.4 | 7.5 | 7.5 |
| 当たり患者数 | 入院(人) | 1.2 | 1.2 | 1.4 | 1.3 | 1.2 | 0.9 | 0.8 | 1.5 | 1.5 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.9 | 2.1 | 1.2 | 1.2 | 1.2 |
| | 看護師 | 1.5 | 1.4 | 1.9 | 1.8 | 1.3 | 1.3 | 1.2 | 1.0 | 1.9 | 1.7 | 2.3 | 2.2 | 0.6 | 0.6 | 1.5 | 1.4 | 1.6 |
| 外来入院患者比率 (%) | 118.9 | 115.4 | 138.6 | 141.4 | 108.9 | 104.5 | 124.1 | 122.6 | 125.8 | 115.5 | 183.6 | 183.1 | 31.4 | 29.2 | 130.9 | 116.8 | 137.0 | 137.0 |
| 患者1人1日 | 入院(円) | 38,805 | 36,981 | 35,451 | 34,961 | 48,385 | 46,925 | 52,438 | 29,141 | 28,321 | 32,348 | 30,057 | 13,573 | 13,346 | 36,021 | 34,760 | 36,569 | 36,569 |
| | 当たり診療収入 | 9,725 | 9,331 | 10,252 | 9,573 | 9,943 | 9,791 | 10,752 | 8,335 | 8,158 | 8,435 | 8,057 | 11,937 | 11,711 | 10,185 | 10,211 | 10,176 | 10,176 |
| 患者1人1日当り薬品費(円) | 2,365 | 2,261 | 2,354 | 2,202 | 2,840 | 2,832 | 3,053 | 2,794 | 1,324 | 1,326 | 1,708 | 1,745 | 2,034 | 1,856 | 3,086 | 3,176 | 3,050 | 3,050 |
| 薬品使用効率 (%) | 115.4 | 113.9 | 113.2 | 117.8 | 120.2 | 114.0 | 110.2 | 110.3 | 122.3 | 117.6 | 111.7 | 111.4 | 118.8 | 118.0 | 111.4 | 111.3 | 111.4 | 111.4 |
| 医療収益に対する材料費 (%) | 24.6 | 24.0 | 24.0 | 23.7 | 27.1 | 26.8 | 26.4 | 25.1 | 20.2 | 20.4 | 21.0 | 21.0 | 16.0 | 14.9 | 27.2 | 26.4 | 27.5 | 27.5 |
| 医療収益に対する職員給与費 (%) | 66.6 | 71.6 | 62.9 | 63.5 | 59.3 | 62.1 | 66.3 | 79.0 | 74.9 | 78.4 | 69.5 | 74.5 | 110.4 | 105.6 | 62.2 | 61.1 | 62.7 | 62.7 |
| 平均在院日数(日) | 15.6 | 16.0 | 13.5 | 13.6 | 12.1 | 12.8 | 14.6 | 14.6 | 18.0 | 17.8 | 12.9 | 12.9 | 147.1 | 276.4 | 19.5 | 19.0 | 19.6 | 19.6 |

別表4-1

資金運用表

(単位：円)

| 資金の使途 | | 資金の源泉 | |
|------------|----------------|-----------|----------------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 建物の取得 | 67,955,900 | 土地の減少 | 704,173,072 |
| 機械備品の取得 | 696,521,712 | 建物の減少 | 3,874,094,521 |
| 繰延勘定の増加 | 0 | 構築物の減少 | 69,110,846 |
| 受贈財産評価額の減少 | 108,548,470 | 機械備品の減少 | 471,558,421 |
| 他会計負担金の減少 | 1,859,928,216 | 無形固定資産の減少 | 0 |
| 国庫補助金の減少 | 1,766,339,656 | 他会計負担金の増加 | 250,074,000 |
| 企業債の償還 | 4,177,799,956 | 他会計補助金の増加 | 336,845,000 |
| 当年度純損失 | 1,206,912,818 | 資産減耗費 | 920,639,972 |
| | | 減価償却費 | 2,570,338,541 |
| | | 繰延勘定償却 | 1,096,127,043 |
| | | 企業債 | 1,777,900,000 |
| 正味運転資本の増加 | 2,186,854,688 | | |
| 合計 | 12,070,861,416 | 合計 | 12,070,861,416 |

別表4-2

正味運転資本増減明細書

(単位：円)

| 増 | | 減 | |
|------------|---------------|------------|---------------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 現金預金の増加 | 640,687,448 | 貯蔵品の減少 | 0 |
| 未収金の増加 | 177,230,366 | 前払費用の減少 | 544,849 |
| その他流動資産の増加 | 23,703,681 | その他流動負債の増加 | 65,120,356 |
| 未払金の減少 | 10,898,398 | | |
| 一時借入金金の減少 | 1,400,000,000 | 正味運転資本の増加 | 2,186,854,688 |
| 合計 | 2,252,519,893 | 合計 | 2,252,519,893 |

別表5

資金収支表

(単位：円)

| 項目 | 金額 | 備考 |
|---------------|----------------|------------------------|
| (収入) | | 医業収益内訳 |
| 1 前期繰越 | 1,023,987,889 | 1. 入院収益 23,040,550,000 |
| 2 医業収益 | 30,363,781,000 | 2. 外来収益 6,536,323,000 |
| 3 医業外収益 | 866,836,000 | 3. 診療所収益 492,405,000 |
| 4 特別利益 | 2,363,255,000 | 4. その他医業収益 294,502,000 |
| 5 一般会計繰入金 | 7,104,645,000 | |
| 6 国庫補助金 | 0 | |
| 7 企業債 | 1,777,900,000 | |
| 8 長期借入金 | 0 | |
| 9 一時借入金 | 11,100,000,000 | |
| 10 預り諸税等 | 2,703,468,000 | |
| 11 前年度未収金 | 5,875,867,000 | |
| 12 固定資産売却代金 | 704,173,000 | |
| 13 その他投資 | 0 | |
| 14 その他(付け替え等) | 21,219,255,019 | |
| 収入合計 | 85,103,167,908 | |
| (支出) | | 医業費用内訳 |
| 1 医業費用 | 35,869,923,000 | 1. 給与費 22,622,737,000 |
| 2 医業外費用 | 1,205,724,000 | 2. 材料費 7,822,314,000 |
| 3 特別損失 | △ 46,261,000 | 3. 経費 5,097,959,000 |
| 4 一時借入金償還金 | 12,500,000,000 | 4. 資産減耗費 206,782,000 |
| 5 長期借入金償還金 | 0 | 5. 研究研修費 120,131,000 |
| 6 企業債償還金 | 4,177,800,000 | |
| 7 建設改良費 | 4,177,800,000 | |
| 8 預り諸税等 | 2,635,707,000 | |
| 9 前年度未払金 | 5,777,902,000 | |
| 10 前払金 | 0 | |
| 11 前払費用 | 0 | |
| 12 未払費用 | 0 | |
| 13 その他(付け替え等) | 17,139,897,571 | |
| 支出合計 | 83,438,492,571 | |
| 収支差引 | 1,664,675,337 | 1. 現金 3,761,026 |
| | | 2. 普通預金 1,660,914,311 |